

<b>予算特別委員会産業建設分科会会議記録</b> <b>(当初予算審査)</b>	
1. 日 時	平成30年2月26日(月) 9:30開会 平成30年2月26日(月) 15:45閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	小島政行座長、國里修久副座長、前田えり子委員、足立義則委員、大上和則委員、園田依子委員
4. 会議に付した事件	議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算 議案第32号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計予算 議案第33号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計予算 議案第38号 平成30年度篠山市水道事業会計予算
5. 議事の経過	<p>■ 開会 9:30 小島座長 あいさつ 小島座長 開議宣告</p> <p>■ 日程第1 議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算 【主な説明】 上下水道部より予算説明資料に基づき説明(経営企画課、下水道課)</p> <p>【主な質疑】 足立委員 し尿処理費に関し、下水道未接続世帯に対する取組みとして、新たな方策はあるのか。 上下水道部 啓発はこれまでと同じチラシの配布のみを行っている。留守宅が多いことから、新たな方策は特には講じられていない。 上下水道部 以前に道路整備に合わせて地域ぐるみで取り組み、まとめて接続されたこともあり、地域ぐるみで取り組むことも一つの方策と考えている。 足立委員 バキュームカーの稼働状況は。 上下水道部 毎週水曜日は収集を休みとし、それ以外は毎日稼働している。 足立委員 あさぎり乾肥を有料化する予定は。 上下水道部 あさぎり乾肥は週50袋作っているが、増産については生活環境</p>

保全委員会において審議し検討していく。

足立委員 あさぎり乾肥の評判はどうか。

上下水道部 新規を含めて60～70人の需要があり、概ね好評である。

足立委員 無料のため好評なのか。

上下水道部 実際のところは不明であるが、以前の調査では有料でも購入するとの人もある。

足立委員 カンパにより代金をもらうのはどうか。

上下水道部 寄附金の形になる。

小島座長 あさぎり乾肥の臭いの現状は。

上下水道部 竹チップを平成29年より混入するようになり、臭いは以前より軽減されている。ただし、検査結果では全項目で改善されてはいないので、今後の経過観察などが必要と思われる。

大上委員 コミュニティプラント管理費に関し、マンホール親子蓋の耐用年数はどの程度か。

上下水道部 各マンホールの状況により硫化水素の発生が異なるため、場所により違う。ただし、城南地区の蓋はロック式ではないため、万一の事故に備えて年2個のペースで交換を進めているところである。

大上委員 1箇所当たり50万円ということか。

上下水道部 そうである。

園田委員 市内の水洗化率の状況は。

上下水道部 全体で94.2%、処理区ごとでは、市の周辺部は中心部に比べて低い傾向にあり、高齢化が要因と考えられる。あさぎり苑と連携して接続への啓発を行っていききたい。

園田委員 水洗化率を伸ばすことは難しいか。

上下水道部 市の周辺部は高齢者世帯が多く、年金生活のため接続への費用負担が支障になったり、後継者がいないため住宅の改造をしないとの考えを持たれている現状がある。

## ■ 日程第2 議案第32号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計予算

### 【主な説明】

上下水道部より予算説明資料に基づき説明（経営企画課、下水道課）

### 【主な質疑】

小島座長 公共下水道事業に関し、道路改良に伴うマンホール蓋の更新工事があるが、施工時の問題があるのか。

上下水道部 施工時の問題ではなく、年月の経過による自然沈下や大型車の通行による振動から沈下や破損が生じている。

小島座長 今後の対策として材料を変えるなど改良することはあるのか。

上下水道部 施工はオーバーレイかやり直しの方法になり、修理箇所の荷重の問題や傷みの程度により方法を選択することになる。

小島座長 修繕する判断は下水道か道路管理のいずれの担当になるのか。

上下水道部 住民からの要望や道路管理者からの指示もあり、一概には言えない。

園田委員 特定環境保全公共下水道事業に関し、委託料が 1,700 万円増えているが、その要因は。

上下水道部 平成 29 年までは長期継続契約で維持管理等の契約を行っていたため、契約額で計上していたが、今年度は契約の見直し年度となることから、設計額での計上となっており、増額になっている。入札を行うことで金額は低くなると考えている。

小島座長 スtockマネジメント計画策定業務はいつ頃完成か。

上下水道部 平成 29 年度の診断結果を受けて 30 年度に方針策定、その後 5 年毎に見直しを実施し、健全度を確認することになる。

小島座長 委託料の増額要因は他にもあるのか。

上下水道部 3 年前と比べて労務費の単価が上がったことも要因である

小島座長 その他にはないか。

上下水道部 公営企業法適用移行業務における電算システム導入に伴う委託料などがある。

足立委員 法適化によるメリットは何か。

上下水道部 経営状況や資産状況が把握できることと、資産の更新時期を把握できるようになり、適切な更新計画を見込めることが挙げられる。

足立委員 一般会計への依存はどうなるのか。

上下水道部 これまでとそれほど変わらないと思われる。

上下水道部 独立採算性が基本のところ、料金を上げることができないことからお願いしたい。法適化することにより、一般会計からの繰入金の収納処理が変わり、その結果消費税の節税効果が期待できると見込んでいる。

前田委員 会計が変わるだけで、他はこれまでと同様か。

上下水道部 現状のままでいけると想定しているが、新たに減価償却費が生じることから、そのあたりは相談して進めていきたいと考えている。

前田委員 健全な経営に努め、市民の負担が増えないようお願いしたい。

昨年から始まったマンホールカードの配布状況はどうか。

上下水道部 現在の配布枚数は約 750 枚で、その 9 割が市外の方である。

前田委員 観光などには寄与されていると思うが、もっと市民への関心拡大へ繋げられたい。

小島座長 通報装置の今後の更新予定は。

上下水道部 農業集落排水事業は平成 29 年度、ココミュニティプラント事業は平成 30 年度で完了の予定である。特定環境保全公共下水道事業で未更新が多く残ることになり、傷みの大きいところから順に更新していく予定である。管路の更新も今後の課題となっている。

小島座長 国の補助事業によって通報装置の更新の進み具合は変わるのか。

上下水道部 国の補助事業はあるが、管路全体として取り組む必要があり、通報装置のマンホールポンプのみの改修を補助事業で行うことはできない。

■ 日程第 3 議案第 33 号 平成 30 年度篠山市農業集落排水事業特別会計予算

【主な説明】

上下水道部より予算説明資料に基づき説明（経営企画課、下水道課）

【主な質疑】

足立委員 農業集落排水管理費に関し、水洗化率は「見込む」ではなく、「目指す」と表現してほしい。その見込みの根拠と人口減少による影響はどうか。

上下水道部 人口で判断している。

上下水道部 公共トイレの設置数とその接続数から率を求めている。今後空き家が増えれば未接続が増えて影響が出てくることも予測される。

大上委員 委託料が高くなっているのは下水道事業特別会計と同じ理由か。

上下水道部 そうである。設計額での計上によるものである。

前田委員 空き家に入居する場合に、下水道に接続する補助はあるのか。

上下水道部 補助はない。

前田委員 転入による下水道への問い合わせの状況は。

上下水道部 個人の問い合わせは皆無で、業者による問い合わせばかりである。

■ 日程第 4 議案第 38 号 平成 30 年度篠山市水道事業会計予算

**【主な説明】**

上下水道部より予算説明資料に基づき説明（経営企画課、上水道課）

**【主な質疑】**

園田委員 水道事業収益に関し、水道料金の件数と水量の減の要因は。

上下水道部 平成 29 年度当初よりは減っているが、昨年当初見込が多かったため、28 年度決算や 29 年度決算見込よりは増えている。

上下水道部 件数は単身世帯が増えたため増加しているが、水量については 1 戸当たりの使用量の減少により減っている。

園田委員 節水の効果もあるのか。

上下水道部 節水の効果に加え、人口減少の影響がある。

前田委員 1 人暮らしの世帯が増えているように思うが、基本料金内の世帯はどの程度あるのか。また、基本料金内の世帯への料金軽減措置はあるのか。

上下水道部 基本料金に満たない世帯は、約 7,000 軒である。ただし、神社や公民館なども含まれている。

上下水道部 水道料金が高い理由は基本水量を超過した分の料金が高いためである。基本料金を下げることにより超過料金分を上げざるを得なくなることから、現行の料金に理解願いたい。

前田委員 少しでも料金を抑えることができるよう検討されたい。

園田委員 資本的支出に関し、耐用年数 40 年を越えた配水管から年間 1 k m ずつ交換するとのことであるが、年間の漏水件数はどの程度か。

上下水道部 平成 29 年度の状況では、配水管などの本管 20 件、給水管 100 件である。導配水管の管路延長は約 670 k m で、28 年度末で 40 年を経過した管路は全体の 6.6% になる。下水道事業の工事の際に新しく管路を更新している。

國里副座長 配水管工事に伴う材質の選択はどういう基準で行うのか。

上下水道部 管種は主に国県道には铸铁管や G X 耐震管、市道はポリエチレン管を使用している。

小島座長 工事関連で経費が増えている要因は。

上下水道部 人件費が年々増加していることと、材料費も増えてきている。

小島座長 繰入金金の交付税算入割合は。

上下水道部 高料金対策繰入金で、普通交付税 50% 特別交付税 30% になる。

足立委員 浄水場などの施設見学は行っているのか。

小上下水道部 市内の小学 3 年生全員を対象に毎年実施している

休憩 11:40～13:00

■ 日程第1 議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算

【主な説明】

まちづくり部より予算説明資料に基づき説明（地域計画課）

【主な質疑】

國里副座長 都市計画事務費に関し、3月補正予算審査においてハートピア北条団地4区画分の歳入の減額について、販売が厳しいならば見込みが立った際に歳入として計上してはと提案したが、当初予算では未売却地5区画分の土地売却収入が計上されている。再度見込みがなくなり減額ということにならないか。

まちづくり部 当初予算で計上して3月補正で減額することが数年続いているが、3月補正予算審査の際に説明したとおり、市としては多紀地区の定住促進に向けて、5区画すべてを販売したいと考えている。分科会での提案は当初予算編成後であったため、平成30年度においては、5区画分を計上している。

まちづくり部 当初予算の算定期間が補正予算よりも前であったため、予算計上している。他の分科会からも指摘があり、課題と考えているため、31年度については財政部局とも協議し、検討のうえ予算計上したい。

小島座長 景観形成事業について、丹波篠山グランドデザインの完成時期は、いつ頃の予定か。また、そのグランドデザインを使ってどのような方向に進めようとしているのか。

まちづくり部 現在、景観計画や土地利用基本計画に基づき開発等を誘導していった将来の景観イメージをデザインしているところであるが、景観だけでなく、祭りなどの地域の暮らしや生き物なども盛り込んだ総合的な将来イメージを日本遺産事業の一環として創造都市課と連携して作成していくこととなった。作成時期は、平成30年の秋頃の完成を目指している。

小島座長 市民にとって、まちづくりの方向性が分かりやすいものを作成されたい。

まちづくり部 当初は、景観施策として民間開発を景観形成基準に基づき誘導し、誘導した集積が景観に表れることから、ハード面を中心とした町並みのイメージを考えていた。しかし、それだけでは市民の暮ら

しが見えないといった意見もあり、建物や町並みのハード的な空間のイメージに加え、生活者の表情や雰囲気も伝わるようなものにまとめようとしている。

大上委員 グランドデザインに関して、篠山口駅周辺は、市民の暮らしに直結するところであるため、未来に向かって夢のある絵面が描けると市民がイメージしやすいのではないかと。篠山口駅は、篠山市の顔にあたる場所であり、観光の主要ルートに良い雰囲気のイメージが伝われば、市民がイメージしやすいのではないかとと思われる。

小島座長 景観形成事業に関して、丹波篠山ロマン街道の指定をした後、それをどう活かすのか。地域住民が参画し、テーマに沿ったルートづくりにしていくのか、具体的な計画があれば説明願いたい。

まちづくり部 ロマン街道の指定は、篠山城跡や立杭以外にもある市内の多くの魅力を広く紹介していくのが目的である。ロマン街道のルートマップの活用にあたっては、ロマン街道の近くで食事などをしてもらい、お金を落としてもらいたいと考えている。また、まちづくり協議会などで、イベントの企画や子供たちのふるさと意識の醸成、地域の散策・案内に活用し、交流促進の手助けになればと考える。ルートマップが地域で広く活用できるように努めていきたい。

まちづくり部 ロマン街道についても、日本遺産関連の事業に位置づけられることとなったため、創造都市課と連携して実施していく。

小島座長 まちづくり協議会などで地域の宝物を探すような事業につながっていけばよい。景観写真コンクールについても、各まちづくり協議会で事業展開し、地域の宝物の写真を応募することにより、まち協ごとにカレンダーを作成するなど、市民に身近なものにつなげていければと考える。

まちづくり部 まちづくり協議会などの事業につながるように努めていきたい。

小島座長 景観まちづくり刷新モデル事業に関し、公衆Wi-Fiの整備を無電柱化事業に入れ込むことはできないか。

まちづくり部 無電柱化にあわせて公衆Wi-Fiを整備する事は、現在考えていないが、観光施設など拠点にWi-Fi整備を進めているのは把握している。市としてどのような計画で整備を進めているのか、技術的にどうなるのかを確認し、必要であれば無電柱化と一体的な整備も検討してみる。

園田委員 景観形成事業に関して、杉に建築されたジョーシンの新店舗には

屋外広告物の基準は該当しないのか。

まちづくり部 屋外広告物の許可基準は、市全域を対象としている。地域によって基準の厳しいところと緩いところの強弱がある。屋外広告物条例では、許可地域と禁止地域に区分し、さらに地域ごとに数種類の基準に分かれている。ジョーシンは、県道から100メートル以上離れていることから許可地域にあたり、最も緩い基準のとこところに建っている。

大上委員 景観まちづくり刷新モデル事業について、城跡公園の整備事業の内容を具体的に説明願いたい。

まちづくり部 城跡公園南側の旧市民グラウンドは、現在、復元途中の石垣の石が置かれ、土塁には木が繁茂するなど、城跡からも南側市道からも眺望が悪い状況であるため、城跡公園の広場として整備し土塁の樹木も伐採する。また、外堀沿いの桜が老木化しているため、その植え替えを実施する。さらに、三の丸北の公衆トイレ横の電柱が大手線から大書院への眺望を阻害しているため、撤去して大手線の無電柱化として管路等を史跡内に埋設する。

小島座長 市営住宅管理費に関し、家賃滞納の取組は。

まちづくり部 家賃滞納の取り組みについては、徴収活動は進めつつも、現年分については率にして横ばいから少し落ちてはいる。要因としては、外国人の入居者に通訳を介して干渉するもなかなか出会えず、金額が累積していることが原因として一つある。他の取組としては、現年分を中心に特別徴収を行った。38件、648,300円の効果額があった。また、連帯保証人請求については5件行い、完納に至った者、分納誓約を取った者がある。干渉に結びつかなかった者については、明け渡し等の対応もしていきたいと考えている。納付誓約についても、総件数23件の中で新たに今年度6件の誓約をもらっており、今後も滞納分を中心に分納してもらうことになっている。弁護士委託については、12月末で25件、1,658,300円の実績がある。3月補正で増額補正しているのので、それに向けて努力していく。

小島座長 外国人の入居条件について、他の入居者と同様、連帯保証人をつけているのか。

まちづくり部 外国人についても他の公営住宅の入居者と同様、連帯保証人をつけて入居されている。

小島座長 しゃくなげ団地等の市営住宅において、どのような経緯で申し込まれたのか。また、今後の取組は。



まちづくり部　しゃくなげ団地の1件の申し込みについては、大阪市の人がHPを見て篠山に来たいと申し込みされた。かすが団地の2件について、1件は地元の人で入居要件に該当し申し込みされた。あと1件は埼玉県在住の人が地元の福知山市に戻るため、地元で職場に通いたいと申し込みされた。今後の方向性としては、引き続き地域と連携してPRしていく必要がある、一つはしゃくなげ会館に市営住宅の入居募集という横断幕の設置を行う。もう一つは住宅内覧会を1月に実施したが、今度は季節のよい時期に再度実施しPRを図っていきたいと考えている。

小島座長　住宅一般事務費に関し、県営住宅跡地をどのように活用しようと考えているのか説明願いたい。

まちづくり部　県営住宅の跡地利用については、現状では公民館用地、市道等が一体利用されており、財産ごとの分筆処理がされていない。来年度、地域計画課で行政財産として公民館用地、市道・上水道・下水道敷地などに整理してそれぞれを管理する部署に引き継ぎ、残った部分は普通財産として管財契約課で利活用を考えていく方向で進めている。

#### 【主な説明】

まちづくり部より予算説明資料に基づき説明（地域計画課）

#### 【主な質疑】

小島座長　放置空き家対策事業に関し、老朽危険空き家除却支援事業を活用したいとの申し入れはあるか。国費の補助率は何割か。

まちづくり部　広く公募等するものではなく、必要な措置をとるよう指導している空き家の所有者等に対して、支援事業を活用して対象空き家を除却することを提案している。今年度は1件の空き家所有者に対して当該事業の活用を提案したが、そのまま放置されているので、引き続き当該事業の活用を提案したいと考える。所有者の直接負担2/6を除いた補助金の財源については、国費が1/2、県費が1/4、市負担が1/4となる。

まちづくり部　今年度を実施した老朽危険空き家除却工事と支援事業については、異なる制度か。

荒木係長　国費については、同じ空き家再生推進事業を活用するが、県費については、除却支援事業のみである。

足立委員 市営駐車場管理費に関し、本篠山駐車場にホテルが建設されるため、駐車場が不足することを心配する。平成 30 年度には検討を始める必要があると考える。代替施設に関する計画等はあるか。

まちづくり部 ルートイングループ(株)の事業担当者と協議を進めているが、現在の敷地でデッサンが作られている。正式な手続きについては、4 月以降に進められる。開発行為や地元説明に着手し、敷地全体をホテルとして利用し、ホテルの駐車場になる。イベントを開催する場合に駐車場が不足すると考えることから、農都創造部において検討している。なお、ホテルの建築に着手するのが平成 31 年 1 月以降の予定であるため、30 年秋のイベントについては、これまでと同様に駐車場として利用する。

足立委員 ルートインホテルの建築に関しては、地域の理解が得られており意見等はあまり聞かないが、ホテルの従業員の駐車場も必要になってくるのではないか。観光客等の駐車場も不足することを心配する。そのため、篠山を訪れた人に駐車することができる代替施設の確保を早期に検討願いたい。

まちづくり部 不足することが考えられるので、市の政策課題として検討したいと考える。

足立委員 都市施設管理費に関し、防犯カメラの設置台数が少ないのが現状であるが、面的に整備することはどの部署が所管しているのか。

まちづくり部 計上している篠山口駅の防犯カメラについては、犯罪があったため、警察からの要請により当該施設の管理を所管するまちづくり部が設置するが、路線的な整備については、全体的な検討のうえ設置箇所を決定するための実施計画がないことから、今後の検討課題としたいと考える。

足立委員 防犯カメラの記録方法はどうなっているのか。

まちづくり部 カメラの近くにボックスを設置し、その中の SD カードに記録する。なお、警察等から情報提供の依頼があったときには、SD カードを提供し、その間は予備の SD カードにデータを記録する。

前田委員 本篠山駐車場については、12 月までは駐車場として借りるということだが、それ以降は全てがホテルの用地となるのか。

まちづくり部 本年度まではバス停を含めて一つの契約として、賃借していたが、4 月からは地域整備課が駐車場、創造都市課が一部バス停として契約する。ルートインとしては、平成 31 年 1 月から正式契約の見込みであり、駐車場用地については、ホテル建築着手までの 9

ヶ月間を駐車場として賃借する予定である。

まちづくり部 本篠山駐車場に小川町の住宅が隣接しており、通路の確保について JR の時代から要望されているが、どうなるのか。道路でなくても通路の確保は必要と考えるので、市も関わって検討されたい。

まちづくり部 国鉄時代から旧篠山町長あてに要望があったことを認識しているので、ルートインにその旨を伝えている。通路については、フェンスや扉を設置するまでの計画はされていないが、ルートインにはそうした実情を伝えていく。

まちづくり部 前面の道路側の出入りに支障が生じたときは、本篠山駐車場側からしか出入りができないので、市民の安全確保の観点から、市も関与して検討願いたいと考える。

大上委員 都市公園管理費に関し、王地山公園ミュージックサイレン管理委託料に大きく差があるが、なぜか。

まちづくり部 3年に1度機器のフルメンテナンスを実施するため、金額に差がある。

大上委員 フルメンテナンスについては、機器の交換はなく、細やかに状態を確認するということか。

まちづくり部 そのとおりである。

大上委員 市営駐車場の目的外使用貸付とはどういったものか。

まちづくり部 桜の季節の三の丸西駐車場における出店や、周辺の工事による使用等である。

大上委員 使用料の算出基準はあるか。

まちづくり部 固定資産税における評価額から算出する方法や、駐車料金相当額から算出する方法により、使用料の金額を決定する。

國里副座長 ふるさとの川再生事業に関し、日置地区でモデル事業が実施されたが、その評価はどうか。当該事業を市民に周知する検討がされていたと思うが、周知に関してどのような取り組みがされたのか。市民はどのように評価して、賛同されているのか説明されたい。

まちづくり部 日置地区の現状については、雑草が生えている状況にあるが、水が流れていない時期があったため、日置自治会に協力を要請して水を流してもらうようお願いしている。市民への周知に関しては、昨年も各自治会長あてに、「ふるさとの川再生事業」について案内し、同様の取り組みを希望されるところには相談されるよう依頼した。数カ所から連絡があったので、農都創造部の丹羽アドバイザーと現地調査を行い、考え方を整理して次の整備につなげていき

たいと考える。

國里副座長 新年度予算に計上されている2ヶ所については、候補地としてあがっているのか、どのような状況なのか。

まちづくり部 自治会からは後川新田、丸山、真南条の3ヶ所から相談があったので、丹羽アドバイザーと現地確認を行った。日置地区と同等の一か所750万円については、用地スペース等の問題から難しい状況ではあるが、次の場所へと繋げていきたい。

國里副座長 集落くらしの道整備事業についても、どこの地域かは決まっていないが該当する箇所があれば対応するということか。

まちづくり部 平成29年度施工中であるが、農道的な市道で通り抜け車両等がある路線について、5路線程度ピックアップしている状況であり、関係自治会やまちづくり協議会等へ声掛けをしてきたいと考える。例えば、多紀小学校の北側の市道については、マラソンコースでもあり、幅員は広くないが、ふるさと一番会議で拡幅要望が出された路線でもあることから、通り抜けは地元の車両が多いと思われるが、検討していきたいと考える。

小島座長 道路維持管理費に関し、毎年植栽管理の要望が上がってくるが、業者は金額的な問題もなく受けてもらっているのか。請負業者が少なく、受託する期間が長くなっているのではないか。草が繁茂し、必要な除草の時期からズレてきているのではないか？

まちづくり部 植栽帯の除草業務については、「篠山・西紀」「丹南・今田」の二箇所割で行っている。ふるさと一番会議で植栽管理業務での除草の時期が遅いとの意見があったので、今年度は早めに発注した。県の発注時期よりも早くすれば、業者も準備ができるとのことであり、平成30年度も早期発注に努めたい。ただし、総延長が長いいため、年二回の工程管理を継続していきたいと考える。

園田委員 国道で沿道の街路樹の伐採がされている。県が実施しているが、景観の観点からすれば伐採の方法に問題があるのではないか。苦情を聞いているところはないか。

まちづくり部 国道372号の街路樹の伐採について、地元から日陰になる、見通しが悪い等の要望があり、伐採されている。今田町の市道学校道線の植栽帯については、PTAからの要望があり歩道幅員が狭い等の状況により平成27年から28年度にかけて、3分の2の植栽帯を伐採した。市では高木は少なく、中低木により交差点付近で標識等が見えない等の場合は、枝の剪定を行っている。

園田委員 植栽帯の草が伸びると、ゴミを捨てられるとの声を聞く。最近は、どの道も植栽帯の撤去を進められているように思われる。植栽帯が繁茂すると景観上も悪くなると思うので、考慮してもらいたい。

小島座長 市単独事業に関し、市道の拡幅要望に対して、道路用地を提供してもらったことが浸透してきたと思うが、どのように対応しているのか。

まちづくり部 「自治会からの道路関連要望の適正管理」に基づき、現況を確認し、拡幅が必要な場合は工法的に付け替えた方がよいか地元と協議しながら、用地提供については面積を提示し理解を得ている。

#### ■議員協議

(意見なし)

議案第30号 平成30年度篠山市一般会計予算

議案第32号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計予算

議案第33号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計予算

議案第38号 平成30年度篠山市水道事業会計予算

—部長・市長への確認質問なし—